

侘び・寂び

お茶を点てる時間



「日々の小さな

「お茶を点てる」とは、茶道の一部で、茶の湯を楽しむためにお茶を淹れる行為を言います。茶道では、茶道具を使って、心を落ち着かせ、心を交わす儀式的な形式でお茶を点てます。茶道は、日本の伝統文化の一部であり、茶を通じて深い精神的な交流を図ることを目的としています。茶の湯は単なるお茶を淹れるだけでなく、心を整え、瞑想的な空間を作り出す行為として捉えられます。